

行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	トキ生息環境保護推進協力費		事業開始年度	平成13年度	作成責任者	
担当部署庁	自然環境局		担当課室	野生生物課	課長 塚本 瑞天	
会計区分	一般会計		上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律		関係する計画、通知等	保護増殖事業計画		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成15年度に締結した「日中共同トキ保護計画」に位置づけられている、日中のトキ保護協力に関する基本的枠組みに基づき、中国におけるトキの人工繁殖個体の野生復帰技術の向上を図り、日中トキ保護の技術交流を行う。さらに、本事業により得られた結果を我が国におけるトキの野生復帰に役立てる。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①中国トキの野生復帰に向けた生息環境改善のための調査 ②野生個体群の生息地域における野生復帰・モニタリング技術の検討調査 ③野生個体群非生息地域における野生復帰・モニタリング技術の検討調査 ④中国へのトキ移送に関する業務 ⑤日中トキ保護国際技術交流会議					
実施状況	・中国トキの分布・行動及び生息環境調査(野生・飼育)、生息環境の保護・改善 ・中国トキの幼鳥のバンディング(標識調査) ・日中トキ保護協力会談(於:日本、平成21年8月23～26日)に係る事務 ・中国へのトキ返還(平成21年11月28日、10羽を新潟空港から上海空港へ移送)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	18	23	24	22	22
	執行額	46	23	20		
	執行率	256%	99%	83%		
	総事業費(執行ベース)	46	23	20		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	調査や事業の実施に当たっては、環境省職員が請負先とともに実施手法等を協議しつつ進めており、平成21年度のトキの移送についても確実に実施されている。				
	見直しの余地	日中におけるトキ保護協力は「日中共同トキ保護計画」に基づき実施しているものである。また、日本のトキ個体群の拡大を進めていく上で、遺伝的な多様性の確保が大きな課題であり、新たな系統を中国に依存せざるを得ない我が国にとって、中国との協力関係の強化は必要不可欠である。				
予算・チーム監視の・所見率	現状維持 (トキの保全については、国民の関心も高く、必要な事業であるが、引き続き、効率的な事業実施に努めること。)					
補記						

環境省
20百万円



<参加者確認公募>

A.日本鳥類保護連盟(1件)
20百万

日中トキ生息保護協力事業
【内容】
中国トキの野生復帰に向けた生息環境改善のための調査、トキの引き渡しにかかる事務等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A.(財)日本鳥類保護連盟			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	日中トキ生息保護協力事業費	20			
計		20	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0